



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月1日

上場会社名 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7177 URL https://www.gmofh.com/
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 C00 (氏名) 石村 富隆
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役 CFO (氏名) 山本 樹 (TEL) 03-6221-0183
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け/ライブ配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	33,695	1.9	31,794	0.8	8,379	△32.7	8,700	△31.5	2,537	△67.5
2021年12月期第3四半期	33,074	18.4	31,549	19.4	12,447	22.0	12,705	27.9	7,805	25.8

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 3,483百万円(△58.2%) 2021年12月期第3四半期 8,342百万円(43.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	22.32	22.23
2021年12月期第3四半期	68.83	68.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,030,621	42,858	4.0
2021年12月期	996,049	42,830	4.1

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 40,926百万円 2021年12月期 40,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	19.70	11.52	10.10	10.85	52.17
2022年12月期	12.50	8.50	0.00		
2022年12月期(予想)				0.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日~2022年12月31日)

当社及び連結子会社の主な事業である証券・FX事業及び暗号資産事業は、経済情勢や市況環境の影響を強く受けており、業績予想を行うことが困難であるため、連結業績予想は開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼすFX取引高、株式委託売買代金、CFD売買代金、暗号資産売買代金、顧客口座数等の営業指標や営業収益を月次で開示しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	117,909,153株	2021年12月期	117,909,153株
② 期末自己株式数	2022年12月期3Q	4,189,375株	2021年12月期	4,366,250株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	113,703,805株	2021年12月期3Q	113,405,472株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%を目途に、四半期ごとに配当することを目標としておりますが、業績予想を行うことが困難であるため、現時点における配当予想額が未定となっております。配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示を行う予定です。

当社は、2022年11月1日にライブ配信での決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 2022年12月期第3四半期末、第4四半期末の配当について	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
(1) 連結損益計算書の推移	12

GMOフィナンシャルホールディングス株式会社及びGMOフィナンシャルホールディングス株式会社の連結子会社を以下「GMO-FH」と記載します。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業収益は33,695百万円（前年同期比1.9%増）、純営業収益は31,794百万円（同0.8%増）、営業利益は8,379百万円（同32.7%減）、経常利益は8,700百万円（同31.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,537百万円（同67.5%減）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2022年12月期第3四半期連結会計期間において、当社が保有及び将来取得することとなるGM0あおぞらネット銀行株式会社の株式にかかる減損処理等に伴う特別損失を計上したことにより、前年同期比で大幅な減益となりました。

当第3四半期連結累計期間における主な収益、費用、利益の状況は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
営業収益	33,074	33,695	621	1.9%
受入手数料	3,801	3,328	△473	△12.5%
トレーディング損益	25,066	25,328	261	1.0%
金融収益	3,741	4,537	796	21.3%
その他の営業収益	47	64	16	35.1%
その他の売上高	416	437	20	5.0%
金融費用	1,220	1,607	386	31.7%
売上原価	304	294	△10	△3.3%
純営業収益	31,549	31,794	245	0.8%
販売費及び一般管理費	19,102	23,415	4,312	22.6%
営業利益	12,447	8,379	△4,067	△32.7%
経常利益	12,705	8,700	△4,004	△31.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,805	2,537	△5,268	△67.5%

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりです。

営業収益内訳（セグメント別/商品別）

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
証券・FX事業	22,029	31,104	9,074	41.2%
株式・ETF等 ※	1,432	1,044	△388	△27.1%
先物・オプション	112	108	△4	△4.0%
取引所FX	346	693	347	100.3%
通貨関連店頭デリバティブ	12,288	17,687	5,399	43.9%
CFD・株BO	4,065	6,968	2,903	71.4%
金融収益	3,740	4,536	796	21.3%
その他	44	65	20	47.0%
暗号資産事業	10,620	2,145	△8,474	△79.8%
暗号資産	10,620	2,145	△8,474	△79.8%
その他	424	458	33	8.0%
その他	424	458	33	8.0%
調整額	—	△13	△13	—
営業収益合計	33,074	33,695	621	1.9%

※ 株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料が含まれています。

(証券・FX事業)

証券・FX事業においては、店頭FXにおける国内グループ会社間のシナジー追求による収益力強化やCFDの収益・顧客基盤の拡大に向けた取り組みを推進しております。

店頭FXは、ドル円相場の急速な円安進行やボラティリティの上昇を受けて、取引高は前年同期比で増加したものの、カバー取引に係るコストが増加するなど収益性の観点では厳しい事業環境となりました。収益面では、2021年9月に外貨ex byGM0株式会社を連結子会社化したことが寄与し、増収となりました。CFDは、米国株式市場や原油などコモディティ市場におけるボラティリティが高まる中で売買代金が増加し、収益も伸長しました。また、株式関連取引については、タイ王国における証券事業が引き続き好調で、金融収益が増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は31,104百万円（前年同期比41.2%増）、営業利益は9,580百万円（同28.9%増）となり増収増益となりました。

(暗号資産事業)

暗号資産事業においては、国内における売買代金シェアの拡大、収益・顧客基盤の拡大に向けて、サービスの充実と利便性向上に向けた取り組みを推進しております。

複数のアルトコイン銘柄の追加をはじめ、API機能やPC専用取引ツールの拡充、貸暗号資産サービスの強化に取り組み、顧客基盤が拡大しました。一方、暗号資産市場の低調を受けて売買代金が低水準で推移し、暗号資産市場の活況を背景に非常に好調であった前年同期比で、収益が大幅に減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの営業収益は2,145百万円（前年同期比79.8%減）、営業損失は971百万円（前年同期は営業利益4,922百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	996,049	1,030,621	34,572
負債	953,218	987,762	34,544
純資産	42,830	42,858	27

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,030,621百万円（前期末比34,572百万円の増加）となりました。これは主に、預託金の増加39,861百万円、信用取引資産の増加8,761百万円、有価証券担保貸付金の増加5,402百万円、支払差金勘定の増加26,789百万円、現金及び預金の減少5,630百万円、利用者暗号資産の減少39,806百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は987,762百万円（前期末比34,544百万円の増加）となりました。これは主に、信用取引負債の増加11,147百万円、有価証券担保借入金金の増加5,097百万円、受入保証金の増加53,560百万円、受取差金勘定の増加11,123百万円、長期借入金金の増加19,768百万円、預り金の減少5,557百万円、預り暗号資産の減少39,970百万円、短期借入金金の減少16,341百万円などによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は42,858百万円（前期末比27百万円の増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の減少と配当金の支払いにより利益剰余金が1,082百万円減少、為替換算調整勘定が1,242百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

GMO-FHの主な事業である証券・FX事業及び暗号資産事業は、経済情勢や市況環境の影響を強く受けており、業績予想を行うことが困難であるため、連結業績予想は開示しておりません。この点を補うために、業績に重要な影響を及ぼすFX取引高、株式委託売買代金、CFD売買代金、暗号資産売買代金、顧客口座数等の営業指標や営業収益を月次で開示しております。

(4) 2022年12月期第3四半期末、第4四半期末の配当について

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、収益性、成長性、企業体質の強化を考慮しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。2022年12月期については、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としております。

当社は前述のとおり業績予想を行うことが困難であることから、これまで配当予想額も未定としておりましたが、「特別損失の計上に関するお知らせ」（開示日：2022年10月25日）及び「2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」（開示日：2022年11月1日）に記載のとおり、2022年12月期第3四半期連結会計期間において特別損失を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなったことを勘案し、2022年12月期第3四半期末（2022年9月30日）を基準日とする剰余金の配当については、無配とすることといたしました。また、2022年12月期末（2022年12月31日）を基準日とする配当予想についても無配といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,018	60,387
預託金	478,489	518,350
利用者暗号資産	116,307	76,501
信用取引資産	134,732	143,493
有価証券担保貸付金	9,626	15,028
短期差入保証金	67,862	68,720
支払差金勘定	70,537	97,327
その他	23,883	23,914
貸倒引当金	△180	△159
流動資産合計	967,276	1,003,563
固定資産		
有形固定資産	1,830	1,982
無形固定資産		
のれん	10,990	10,174
その他	10,766	10,210
無形固定資産合計	21,756	20,385
投資その他の資産		
繰延税金資産	415	64
その他	4,897	4,753
貸倒引当金	△128	△128
投資その他の資産合計	5,184	4,689
固定資産合計	28,772	27,057
資産合計	996,049	1,030,621
負債の部		
流動負債		
信用取引負債	30,554	41,701
有価証券担保借入金	20,614	25,711
預り金	55,486	49,928
預り暗号資産	116,495	76,524
受入保証金	524,035	577,596
受取差金勘定	7,677	18,800
短期借入金	142,965	126,624
1年内返済予定の長期借入金	6,312	10,292
未払法人税等	2,513	446
賞与引当金	1,521	302
役員賞与引当金	663	-
契約損失引当金	-	3,170
その他	20,995	15,023
流動負債合計	929,835	946,123
固定負債		
長期借入金	20,054	39,822
その他	2,403	871
固定負債合計	22,458	40,693
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	924	945
特別法上の準備金合計	924	945
負債合計	953,218	987,762

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	705	705
資本剰余金	655	580
利益剰余金	41,393	40,310
自己株式	△2,445	△2,346
株主資本合計	40,309	39,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	188
繰延ヘッジ損益	-	△66
為替換算調整勘定	311	1,553
その他の包括利益累計額合計	395	1,675
非支配株主持分	2,126	1,931
純資産合計	42,830	42,858
負債純資産合計	996,049	1,030,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
営業収益		
受入手数料	3,801	3,328
トレーディング損益	25,066	25,328
金融収益	3,741	4,537
その他の営業収益	47	64
その他の売上高	416	437
営業収益合計	33,074	33,695
金融費用	1,220	1,607
売上原価	304	294
純営業収益	31,549	31,794
販売費及び一般管理費		
取引関係費	8,400	9,029
人件費	4,648	4,321
不動産関係費	2,224	3,676
事務費	2,045	2,607
減価償却費	744	2,033
租税公課	793	798
貸倒引当金繰入額	21	0
のれん償却額	122	815
その他	101	132
販売費及び一般管理費合計	19,102	23,415
営業利益	12,447	8,379
営業外収益		
為替差益	298	401
投資事業組合運用益	2	8
その他	29	74
営業外収益合計	329	484
営業外費用		
投資事業組合運用損	67	127
その他	3	35
営業外費用合計	71	162
経常利益	12,705	8,700

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
特別利益		
金融商品取引責任準備金戻入	185	-
特別利益合計	185	-
特別損失		
契約損失引当金繰入額	-	3,170
投資有価証券評価損	-	963
顧客損失補填金	-	241
金融商品取引責任準備金繰入	-	21
減損損失	3	12
特別損失合計	3	4,409
税金等調整前四半期純利益	12,887	4,290
法人税、住民税及び事業税	3,992	3,077
法人税等調整額	182	△991
法人税等合計	4,175	2,086
四半期純利益	8,711	2,204
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	905	△332
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,805	2,537

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	8,711	2,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	104
繰延ヘッジ損益	-	△66
為替換算調整勘定	△400	1,241
その他の包括利益合計	△369	1,279
四半期包括利益	8,342	3,483
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,435	3,817
非支配株主に係る四半期包括利益	906	△333

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、顧客に支払われる対価について、従来は、販売費及び一般管理費の取引関係費として処理する方法によっておりましたが、営業収益の受入手数料から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益及び販売費及び一般管理費がそれぞれ16百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益には影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	証券・FX事業	暗号資産事業	計			
営業収益						
外部顧客への営業収益	22,029	10,620	32,649	424	—	33,074
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,029	10,620	32,649	424	—	33,074
セグメント利益	7,429	4,922	12,352	94	—	12,447

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	証券・FX事業	暗号資産事業	計			
営業収益						
受入手数料	2,261	1,066	3,328	—	—	3,328
その他	56	0	56	444	—	501
顧客との契約から生じる収益	2,317	1,066	3,384	444	—	3,829
トレーディング損益	24,257	1,071	25,328	—	—	25,328
金融収益	4,536	0	4,537	—	—	4,537
その他の収益	28,794	1,071	29,866	—	—	29,866
外部顧客への営業収益	31,111	2,138	33,250	444	—	33,695
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	△7	7	—	13	△13	—
計	31,104	2,145	33,250	458	△13	33,695
セグメント利益又は損失(△)	9,580	△971	8,608	△229	—	8,379

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「証券・FX事業」の営業収益は16百万円減少しておりますが、セグメント利益又は損失(△)には影響はありません。

3. その他

(1) 連結損益計算書の推移

(単位：百万円)

科目	2021年12月期				2022年12月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
営業収益	13,216	10,682	9,174	12,850	11,823	11,347	10,524
受入手数料	1,474	1,241	1,085	1,474	1,063	1,272	991
委託手数料	665	535	521	524	524	608	559
(内、株式・ETF等)	493	396	373	341	327	282	280
(内、先物・オプション)	41	35	35	40	46	32	29
(内、取引所FX)	130	104	112	142	150	292	250
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	3	2	1	3	1	0	0
その他の受入手数料	806	703	561	946	537	663	431
トレーディング損益	10,390	8,047	6,628	9,823	9,201	8,416	7,709
金融収益	1,202	1,231	1,306	1,391	1,400	1,486	1,649
その他の営業収益	17	16	13	13	17	23	23
その他の売上高	130	145	140	147	139	147	150
金融費用	405	392	423	479	502	504	600
売上原価	98	105	99	98	93	100	100
純営業収益	12,712	10,185	8,651	12,272	11,227	10,742	9,823
販売費及び一般管理費	6,652	6,695	5,753	9,322	7,833	7,838	7,742
取引関係費	2,557	3,264	2,578	4,288	3,080	2,937	3,011
(内、広告宣伝費)	1,091	2,011	1,352	2,871	1,638	1,533	1,543
人件費	2,095	1,395	1,157	1,609	1,401	1,503	1,415
不動産関係費	732	756	734	1,139	1,177	1,246	1,252
事務費	668	683	693	973	911	899	796
減価償却費	246	245	252	690	680	667	685
租税公課	278	264	250	286	269	262	266
貸倒引当金繰入額	8	3	9	4	0	6	△6
のれん償却額	40	40	40	271	271	271	271
その他	24	41	35	58	38	43	50
営業利益	6,059	3,489	2,898	2,949	3,393	2,904	2,081
営業外収益	288	54	△12	352	302	153	27
営業外費用	24	23	23	△29	28	112	21
経常利益	6,323	3,519	2,861	3,331	3,668	2,945	2,086
特別利益	32	74	79	82	—	—	—
特別損失	—	3	0	39	2	264	4,142
税金等調整前四半期純利益又は税金 等調整前四半期純損失(△)	6,356	3,590	2,941	3,374	3,666	2,680	△2,056
法人税等	2,046	1,150	978	1,465	1,270	967	△151
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純 損失(△)	590	262	53	△142	△33	△63	△235
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純 損失(△)	3,718	2,177	1,909	2,052	2,429	1,776	△1,668